

底地居抜き の寺子屋

Q.借地権者からの増改築希望を承諾しないとどうなるの？

解答

A.裁判手続きにより承諾に代わる許可を求められることとなります。借地権者さんが建物を増改築しようとして地主さんが承諾しないなどのケースで、借地権者さんは裁判所に地主さんの承諾に代わる許可（代諾許可）を申立てることができます。引用：底地.com (<https://www.sokochi.com/>)

ものしりのもり



豆まきのお作法

節分といえば豆まきですね。この便りをご覧いただいている頃にはとくに豆をまき終わられているかと思しますので、来年に向けての知識としてお役にください。
なぜ豆をまくのかについては、昔から米や豆には、邪気を払う力があるとされ、鬼を追い払うために豆をまくようになったとか、豆（まめ）が【魔（鬼）の目⇒魔目⇒まめ】や【まめ⇒魔滅⇒魔を滅する】に通じると考えられるなど、諸説あるようです。ここで大切なポイントです。豆まきの豆は必ず炒った豆を使いましょう。理由は、先程の【豆＝魔目】を【炒る＝射る】事で鬼をやっつける意味があるからです。また、拾い忘れの豆から芽が出ることは縁起が悪いとされているので、発芽しないよう炒るようになったとか。最近では、節分の豆まき用に売られている豆であれば、既に炒ってあるものが多いので、あまり気にしなくてもよいでしょう。節分は鬼に向かって豆を投げるだけの行事だと思われがちですが、実は豆まきにもルールが存在します。

《豆まきのルール》

①節分の日の朝、炒った豆を用意し、升や三方に入れて神棚にお供えます。神棚が無い場合は目線よりも高い場所に白い紙を敷いてお供えしてもよいそうです。

②夕方から夜にかけて豆まきをします。正式な方法では「一家の主」が豆をまきます。各地域によっては「年男」「年女」「厄年の人」がまきます。

③手のひらを上にして「鬼は外」と言って豆を2回まき、戸や窓を閉めてから（鬼が戻らないように）「福は内」と言って逆に部屋に向かって豆を2回まき、玄関から遠い部屋から順番にまき最後玄関で終わります。

④豆まきが終わったら年の数より一つ多く食べます。数え年の分だけ食べることで、今年一年の厄を払うと言われております。

因みに平安時代に渡辺綱が鬼退治をしたため、鬼たちがワタナベ一門を恐れ、子孫にも近づかなくなったという説があることから、豆まきをしないワタナベさんがいらっしゃるそうです。



ランチ放浪記

ご無沙汰しております。久々のランチ放浪記です。最近社内の一部で密かにブームになっている激辛麻婆豆腐があります。

辛い物好きが集まる「陳家私菜 有楽町店」の、その名も「元祖 頂天石焼麻婆豆腐」です。熱した石焼の器に入った大きくて四角いままの絹ごし豆腐に、マグマの様に沸騰する熱々の麻婆がたっぷりかかった自慢の一品です。（なんと商標登録済みだそうです。）辛さが小辛・普通辛・中辛・大辛・激辛・地獄辛から選べるのですが、辛さを売りにしているだけにそもそも「普通辛」がどの程度なのか分かりません…我こそは辛い物好きの私は思い切って大辛にさせていただきました。

お客さんでござった返す店内にはこの激辛麻婆豆腐の刺激的な香りが立ち込め、より一層期待が高まります。お客さんの半数以上はこの麻婆豆腐を注文されているように見えます。白飯、サラダ、唐揚げ、スープ、杏仁豆腐がセルフサービスになっているので、麻婆がやってくるまでの暫しの間こちらを堪能しましょう。いよいよ麻婆豆腐の登場です。塊の豆腐をレンジで少しづつ擽って食べるかと思いきや、目の前で店員の女性がグラグラ煮え立つ麻婆豆腐を豪快に混ぜてくれます。グツグツがおさまるまで待って、それをレンジで擽って「ふーふーぱくり！」。期待通りとても美味しいのですが、まさに遠慮のない辛さで気付けば汗がタラタラ。熱いのか辛いのかもはや不明です。辛いことは重々承知の上でしたが、想像を二回りくらい超えた辛さ（熱さ）で、食べても食べてもなかなか減らず、次第に大辛を選んだことを後悔し始めました…（涙）同僚が注文した中辛を試食させてもらいましたが、相変わらず激辛ではあるものの、こちらの方がじっくり味わう余裕がありました。

個人的にはいきなりハイレベルなものにチャレンジするよりは、徐々にレベルアップすることをお勧めします。我こそは辛党だという方も、そうでない方も是非チャレンジしてみたいかがでしょうか。



底地・居抜きアパートの情報お寄せください！

株式会社サンセイランディック

〒100-0005

東京都千代田区丸の内2-5-1 丸の内二丁目ビル5階

TEL : 03-5252-7515 (代) FAX : 03-5252-7516 Email : Info@sansei-l.co.jp



札幌支店

〒060-0003北海道札幌市中央区北3条西2-2-1
日通札幌ビル7F
TEL:011-261-3960 (代) / FAX:011-261-3955

仙台支店

〒984-0051宮城県仙台市若林区新寺一丁目2-26
小田急仙台東口ビル8F
TEL:022-742-2411 (代) / FAX:022-742-2412

横浜支店

〒220-0004神奈川県横浜市西区北幸1-4-1
横浜天理ビル20F
TEL:045-620-0022 (代) / FAX:045-620-0021

武蔵野支店

〒180-0013東京都三鷹市下連雀3-15-20
MSK'リトルハイム1F
TEL:0422-79-9220(代) / FAX:0422-76-5570

名古屋支店

〒460-0002愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17
KDX桜通ビル10F
TEL:052-955-6380 (代) / FAX:052-955-6389

関西支店

〒541-0046大阪府大阪市中央区平野町3-6-1
あいおいニッセイ同和損保御堂筋ビル3F
TEL:06-4706-0040(代) / FAX:06-4706-0045

京都支店 H30年9月営業開始

〒604-8152京都府京都市中京区烏丸通錦小路
上ル手洗水町659番地烏丸中央ビル5F
TEL:075-241-0188 (代) / FAX:075-241-0199

福岡支店

〒810-0001福岡県福岡市中央区天神1-13-21
天神商栄ビル5F
TEL:092-718-0212(代) / FAX:092-718-0213

One's Life ホーム本社移転のお知らせ

弊社グループ会社のOne'sLifeホーム本社が移転いたしました。今後とも、益々業務に精励する所存でございますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。スタッフ一同皆様のご来場を心よりお待ち申し上げます。

《移転先》1月28日より

成城 HeadOffice 「Seijo Design Gallery」併設
〒157-0066 東京都世田谷区成城3-21-8 ※駐車場完備
TEL : 03-6324-3733 FAX : 03-6324-3734